

銘柄分析レポート：変化のある企業

1 はじめに

『勝つ投資 負けない投資』より片山晃さんの言葉を引用します。

そのため変化のある企業の株価は動くし、何も起きていない企業の株価はずっと割安なままで放置されてしまうのです。

(中略) よく聞かれるのですが、どうやって成長株を見極めているのかということなのですが、これは先ほどから口を酸っぱくして言っているように、「変化」に着目していく以外にありません。

ここでの「変化のある企業」の実例として、個人的に一番印象に残っている銘柄がジャストシステム(4686)です。優れた技術力を持っていながら、経営に難があり、業績不振が長引いていました。

ところが2009年に、売上高営業利益率50%以上を誇るキーエンスの第三者割当増資を受けて、その傘下に入ってから、状況が一変しました。キーエンスは役員を派遣して、リストラに取り組み、同社は高収益企業として生まれ変わります。

この変化に気づいた投資家は、ジャストシステムへの長期投資で、大きな成果を上げることができました。

今回の銘柄分析レポートでは、私が四季報夏号の通読で見つけた「変化のある企業」を取り上げます。果たして、柳の下に二匹目のドジョウはいるのでしょうか？

★ジャストシステム 株価チャート

